

笑 顔

☆まあるじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 48 号

2018(平成30)年10月11日発行

発行者 松田 淳二

体育祭を振り返って【感想編】

体育祭を振り返ってからみんなの感想を載せます。練習中の思いや当日の感動などがしっかりと書けています。あの熱い思いを再び！！

【感想編】

- ・開会式のときに緊張したがバラエティーから緊張がなくなっていつも通りにできてよかった。ミックスも不安だったけれど応援席の応援のおかげですごいやる気になったしがんばろうと気合が入ってとてもよかった。何かいい気分だった。
- ・応援合戦の練習が一番印象に残っている。夏休みにあった3回の集まりではなかなか意見が出しあえず、大きな遅れを作ってしまった。2学期に入ってペースを上げて何とかしおりをつくることのできたのが今でもほっとしている。このときに準備をすることと意見を出し合うことの大切さを知ることができた。練習が始まってからは、自分の思っていることがうまく伝わらず苦戦したときもあったが応援リーダーや先生方がたくさんアドバイスをしてくださりとても完成度の高い応援に仕上げることができた。クラスの団結力や助けあう力、ほかにもたくさんの力を身につけることができた。
- ・体育祭が成功してよかった。準備を全力でしたから成功したのだと思う。全力で準備をすることの大切さを学んだ体育祭だった。
- ・みんなで声を掛け合って協力して体育祭の準備ができたから目標であった2冠を達成することができたのでとてもよかった。みんなと協力をしあって1つのことを成し遂げるってすごく感動的だと改めて感じた。準備は大事だと改めて思った。
- ・少ない練習期間だったが、生徒全員がしっかりと練習に取り組んでいてよかった。様々な緊張があったが、「絶対3の1は2冠がとれる」、「今回の体育祭は絶対成功できる」という気持ちで頑張れた。
- ・みんなの姿がかっこよかった。感動の体育祭をありがとう。
- ・ダンスを最後までやりきることができて楽しかったし、みんな楽しく踊れたのでよかった。
- ・仲間を信じ、心を1つにしたら絶対にできると思った。
- ・最後の体育祭だったので去年とは違う緊張感があった。女子の選抜で頑張ってくれているのを見てがんばらないといけないと思った。正直負けるという気ではなかった。バトンパスの練習を丁寧にいったのでスムーズにいけた。最後はみんなと一緒に笑えてよかった。



• 体育祭が大成功したのが何よりよかった。組体操などしんどい練習なども自分から取り組めるように成長できたクラスでは今までの課題であった切りかえができるようになったので全員が成長できたので本当に大成功だった。本当に楽しい思い出がたくさんできてよかった。

• ずっと笑顔でいられてよかった。大縄は勝てると思っていたので悔しかったが今までで一番跳べたのでよかった。応援では感謝と自立を表現できた。最後のリレーではとてもいい雰囲気でも応援できてうれしかったし感動してすごく楽しかった。とてもいい思い出になったしとてもいいクラスだと思った。

• 練習中にアナウンスの練習や意気込み放送などいろいろなものがあったが夏休み中の準備のおかげで乗り切れた。当日は3年生の底力のようなものが出ていつもかけているものが出てきたと思った。

• 応援合戦では夏休みから応援リーダーのみんなと考えてつくって練習中このまま完成できないのではないかと焦ったけれどもみんなが先を観て行動したり、手伝ったりしてくれたから完成することができた。生徒会演技でも生徒会のメンバーでアイデアを出し合いながら協議をつくっていい演技になったのでよかった。みんなで心を1つにして競技に挑んだり、応援できるようになって良かった。

• 体育祭でみんなが笑顔で終わったことがとてもうれしかった。男子の選抜は本当に感動した。1つになるってこういうことなんだと感じた。みんなが全力で走っている姿や大縄を跳んでいる姿、綱を引いている姿はとってもかっこよかった。今まであんなうれし泣きをしたことはないくらい感動した。このメンバーでの体育祭が終わってしまうと思うとすごくさみしく、このときが終わってほしくないと思った。一生心に残る思い出になると思う。

• 3年生はこんなにプレッシャーがかかるんだと思った。男子がしっかりと行動してくれたおかげで楽しい思い出に残る体育祭になった。

• 組体操で、うまくいかないことがあり、自分の中で弱気になっていたところがあったが今後は、その気の弱さを克服するとともに、自信が持てるまで練習をするようにしたい。

• 自分の体調のことを考えて走り切れたのでよかった。

• 4人5脚では4人全員で声を出して練習よりも速く走れたので嬉しかった。応援ではとても緊張したが練習通りにできたのでよかった。ビデオを見るとちゃんと文字が見えていたので嬉しかった。

• 休んでしまったことがあったけれどダンスや応援を個別や空き時間に教えてもらってたくさん助けてもらった。そのおかげで本番をしっかりとすることができたので凄く感謝している。今回の体育祭は笑顔、感動あふれる体育祭になって本当に良かった。

• 最後の体育祭ということで練習から今まで以上にやる気と成功させるといふ思いがとても強かった。体育祭前日、配られた通信を何回も読んだ。正直、緊張もあったけれど「信じる」の部分を読んだとき、今までたくさんの準備を3の1全員でしてきたから信じて頑張ろうと前向きな気持ちになった。この準備にはとても時間をかけた準備や陰での準備がたくさんある。一つひとつの準備があったからこそ体育祭が大成功したということをしかりと心に刻んでおきたい。42人と先生方とともに挑んだ体育祭は一生の思い出になった。

• 3の1全員に感謝をしたい。



・応援合戦で最優秀賞に選ばれてよかったが逆に選ばれてなくてもやることはやってすべてを出し切れたのでそれはそれで満足だ。

・中学校生活最後の体育祭ということで過去2回とは違うプレッシャーがあった。練習などで先輩に負けるとすごく悔しくプレッシャーがもっと大きくなった。でも、樹さんが旗を作ってきてくれたとき、クラスの雰囲気は軽くなったように感じた。プレッシャーがある中でも練習中3の1、1人ひとりが頑張っている姿はとっ



てもかっこよくて日を重ねるごとにプレッシャーが、できるに変わっていった。体育祭当日はとても緊張したがどこかすっきりした気持ちがあった。1つひとつの競技が終わっていくごとに「まだ終わってほしくない」という気持ちでいっぱいだった。体育祭が終わると「このメンバーと同じ学年で同じ中学校で本当に幸せだな」と感じた。幸せを感じられることを当たり前と思わずこれからも友だちを大切にしていこうと思う。

・今までで一番頑張って練習した体育祭だった。42人全員では体育祭に出られなかったが、手紙に書いたことはしっかり伝わっているのでいつか1日でも42人全員がそろそろようにしたい。体育祭でクラスが1つになった。

・最後の体育祭だったので今までとは違った特別な思いを持って挑んだ。結果的に2冠を達成しクラス全員で楽しむことができ、最後にして最高の体育祭にすることができた。なかなかうまくいかない演技もあったけれど本番には成功させようという思いを持って取り組んだ結果だと思う。

・いろいろな競技で退場した後に、もうこの競技はできないんだと考えると何かさみしい気分だった。最後みんなで喜びあって、誰も悔いが残らない終わり方だったと思う。

・みんなが励ましてくれてうれしくて涙が出た。男子選抜のリレーの応援もみんなの気持ちが1つになった瞬間だった。クラス全員が勝ちたいという気持ちを持っていなかったら2冠は達成できなかったと思う。責任を持って仕事をしているそれぞれが輝いて見えた。旗のメッセージを見て全員が同じ気持ちだということが分かりうれしかった。



・素直に優勝できたことがうれしかった。それは、当日までの準備があったからだと思う。夏休み中に、応援リーダーや生徒会役員が内容を決め、練習期間中に心を1つにするために練習をしてきた。それらの準備を本番のつもりでしてきたことがよかったと思う。

・自分自身やクラスも必死にやっていたと思う。結果がついてきたことはもちろんよかったが、何よりしっかりと準備し、本番では心を1つに挑み、後片付けまで協力してできたことが財産だと思う。

・学年の時間では皆1つひとつの種目を真剣に取り組んでいてとてもよい雰囲気だと思った。このクラスで体育祭ができて本当に楽しかった。

・応援合戦が上手くいったのは応援リーダーたちが1つひとつ丁寧に教えてくれたおかげだった。気持ちよく演技がグラウンドでできたのも整備してくれた人のおかげだし、気持ちよく行進できたのも吹奏楽部の仲間のおかげだ。私一人では絶対にできないことがすべてで誰かのおかげで成り立っている体育祭だったと感じた。この素晴らしい体育祭に関わったすべての人に感謝をしたい。